

那覇市内観光周遊バス実証実験事業(概要)

1) 趣旨

那覇まちま〜い事業と連携した観光周遊バス実証実験で、観光客に市内を周遊してもらうことで着地型観光のモデルとし、将来的にはバス会社の自主運行を目指している。実証実験期間はバス運行に要する経費及び運賃収入見込み額と実収入との差額について補助する。

2) 具体的な取り組み

- ①ガイドとして那覇まちま〜いガイドを乗車させて案内業務の実施。
- ②オリジナルデザインラッピング(外装及び内装)を施し、観光に特化した形態。
- ③一日乗車券(660円)、バスモノパス乗車券(1,000円)利用者を主にするが、一般の利用者も1回当たり運賃(大人220円、小人110円)で乗車可能。
- ④乗務員にかりゆしウェア等衣装を着用する予定。
- ⑤車内でモニターによる観光案内等の放映。
- ⑥旅行商品として旅行社等へ売り込み、修学旅行や個人客への販売。
- ⑦地元小中学校の社会学習にも活用。
- ⑧H25の実証実験運行を検証して、コースや時間帯等の見直しを行う。

3) バス運行スタイル

- ①一方向走行の循環
バスミル⇒開南⇒識名園⇒首里駅⇒首里城⇒DFS⇒国際通り⇒バスミル
- ②バス停は観光施設等を中心に既存及び新設バス停を使用するが、すべての既存バス停では停車せず、観光施設及び那覇まちま〜いポイントに停車。
- ③始発8:30～最終18:00までに20～25分間隔で25回の運行。
※運行時間は観光施設の開閉園時間を考慮。
- ④多数乗車が見込まれる場合は、便数の増便や運行時間の変更を適宜実施。

4) 広報PR

- ①モノレール中吊り広告、ポスター、チラシ、市民の友
- ②JTB時刻表、旅行雑誌等